

2020年8月21日
日本生命保険相互会社

2020年国連責任投資原則（PRI）年次評価について
～4分野で最高評価「A+」を2年連続獲得～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、国連責任投資原則（以下「PRI」）による2020年の年次評価が判明しましたので、お知らせします。

当社は、2019年の活動を対象とした2020年のPRI年次評価において、2年連続で、「戦略とガバナンス」、「上場株式の投資プロセス」、「上場株式のアクティブオーナーシップ」、「不動産投資」の4分野において、最高評価の「A+」を獲得したことをはじめ、全ての分野においてPRI署名機関中央値を上回る評価を獲得しました。

【2020年 PRI年次評価詳細について】

分野	具体内容	当社評価	署名機関中央値
戦略とガバナンス	責任投資に関する全体の方針や目的、目標及びガバナンス	A+	A
上場株式の投資プロセス	上場株式の投資プロセスにおけるESG要素の組入	A+	A
上場株式のアクティブオーナーシップ	上場株式における企業との対話や議決権行使	A+	B
債券投資*	債券の投資プロセスにおけるESG要素の組入	A	B
不動産投資	不動産に関する責任投資の方針、投資プロセスやモニタリング	A+	B

※債券投資は、国債等・社債（金融）・社債（非金融）の平均を表示

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資するESG投融資を積極的に推進しており、2017年3月のPRI署名以降、特にESG投融資を強化してきました。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、ESG投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) とは>

PRI は、持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が環境 (E: Environment)、社会 (S: Social)、ガバナンス (G: Governance) の課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する原則です。署名機関数は、世界で 3,295 機関、うち日本で 85 機関 (2020 年 8 月 14 日現在) となっています。

<PRI 年次評価について>

PRI の年次評価は、PRI 署名機関を対象に、PRI が責任投資の実施状況等を評価するものです。PRI 署名機関は、毎年、各分野の取組状況に関する報告書を PRI へ提出する義務があり、その報告書を元に、PRI が署名機関を評価します。具体的には分野毎の得点率に応じて、6 段階 (A+, A, B, C, D, E) で評価が付与され、「A+」が最高評価となっています。

(参考) PRI 年次評価における得点率と評価

得点率	0%	0-25%	25-50%	50-75%	75-95%	95%超
評価	E	D	C	B	A	A+

以 上